

①収支改善について（経営企画課 頭師係長 説明）

平成18年度 第1回県立病院を良くする会
御質問・御要望についての意見交換

1 収支改善について

収支改善に関する、委員からの御質問事項

- ◆ 収支改善の要因は何か？
- ◆ 収入に含む繰入金はいくらか？
- ◆ 繰入金は目的どおりに使用されているのか？
- ◆ 糖尿病問題等、県内の深刻な問題に対して
繰入金を投入すべきでは？
- ◆ 県民に対する繰入金の説明は？

平成17年度決算のレビュー（全体）			
項目	H17決算額	対前年度比	
収入	158.4億円	+6.1億円	増加
支出	160.3億円	▲12.1億円	減少
純損益	▲1.9億円	+18.2億円	改善
累積欠損金	101.5億円	+1.9億円	悪化
不良債務	8.6億円	+0.1億円	悪化

収入増加内訳		
診療報酬による収入	+4.6億円 (入院 +4.2億) (外来 +0.4億)	増加
繰入金による収入	▲1百万円	ほぼ横ばい
その他の収入	+1.5億円	増加
合計	+6.1億円	増加

収入増加の要因（その1）

- 入院患者が3病院で約3千人増加
(中央 +0.3千、三好 +3.3千、海部 ▲0.6千)
- 病床の効率的運用が図られた
3病院全体の病床利用率
79.5%→81.9%
- 手術件数、検査件数の増加（特に中央）

収入増加の要因（その2）

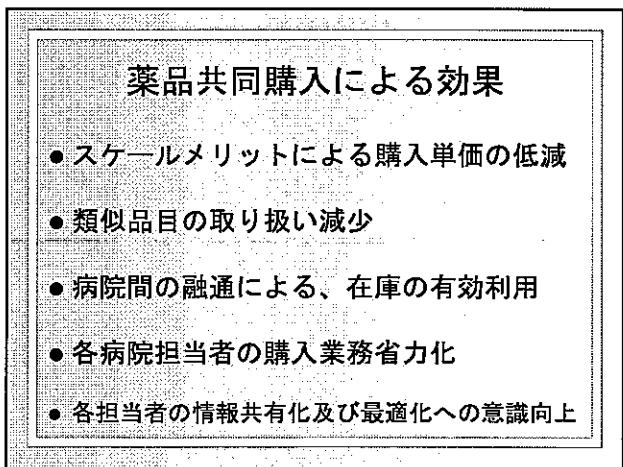
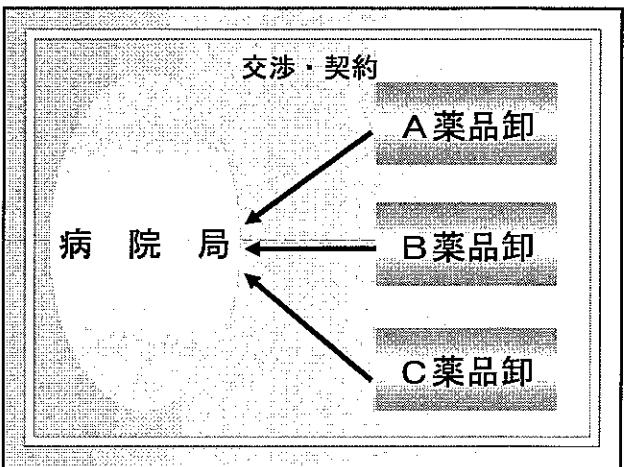
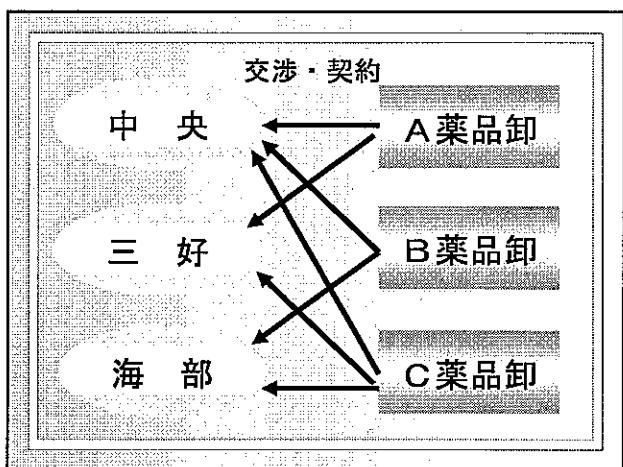
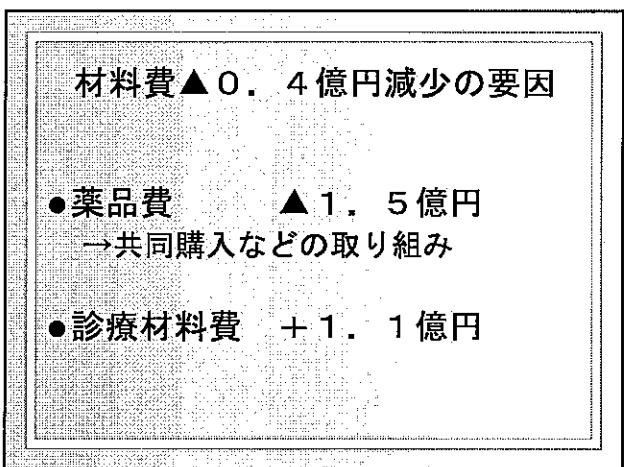
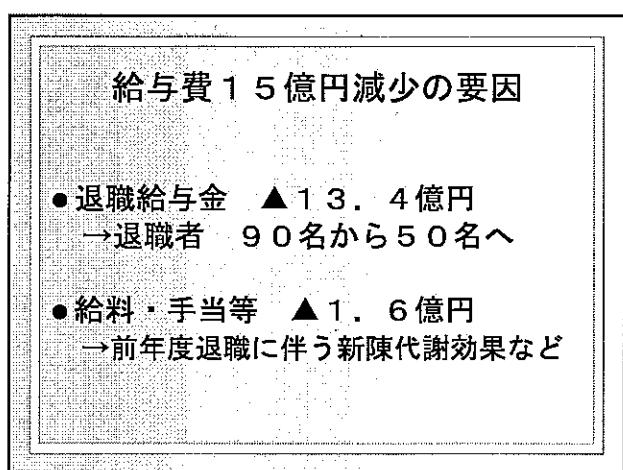
- 急性期病院として、より高い施設基準を取得した

施設基準とは・・・

・人員配置	充実度が評価され、 より高い診療報酬が得られる
・設備	
・医療行為等	

★ 地域連携を進めたことが、平均在院日数の短縮や紹介率の向上をもたらし、収入が増加した

支 出 減 少 内 訳		
給 与 費	▲15.0 億円	減 少
材 料 費	▲0.4 億円	減 少
委託費・賃借料・修繕費などの経費	+3.4 億円	増 加
減価償却費・支払利息などの支出	▲0.1 億円	減 少
合 計	▲12.1 億円	減 少



繰入金の根拠

H17年度 収入 158.4億円
うち繰入金 25.4億円

地方公営企業法第17条の2第1項第1号

- その性質上当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって当てることが適当でない経費

第1号該当経費

- 看護師養成に要する経費

→0.1億円

- 救急医療の確保に要する経費

→10.7億円

- 集団検診、医療相談等保健衛生行政事務に要する経費

→0.1億円

もう一つの根拠

地方公営企業法第17条の2第1項第2号

- 当該地方公営企業の性質上能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費

第2号該当経費（その1）

- べき地医療の確保に要する経費

→0.1億円

- 結核病院の運営に要する経費

→0.3億円

- 精神病院の運営に要する経費

→1.4億円

- リハビリテーション医療に要する経費

→0.3億円

- 産科医療に要する経費

→1.2億円

第2号該当経費（その2）

- 小児医療に要する経費
→1.2億円
- 高度医療に要する経費
→2.0億円
- 基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費
→0.9億円
- 経営基盤強化対策に要する経費
→3.7億円
- 企業債償還利息に要する経費
→1.5億円

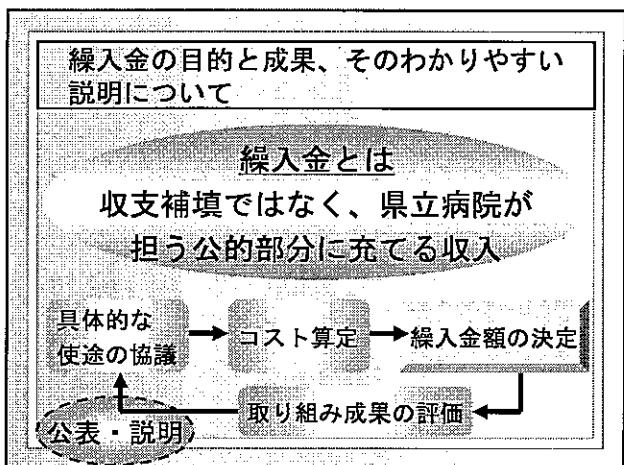
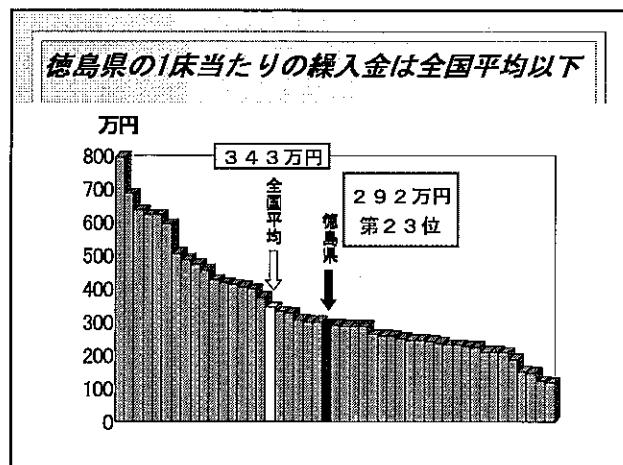
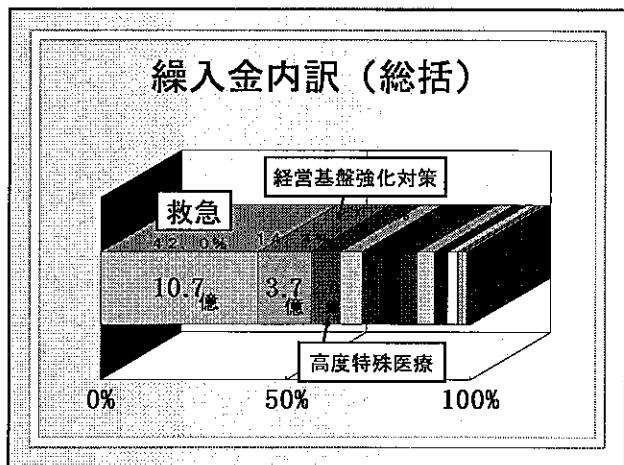
その他の繰入金

- 早期勧奨退職者に係る退職給与金(H20まで)

→0.7億円

- 本局経費(H19終了)

→1.2億円



②県立病院が目指す方向と運営方針について（塩谷管理者 説明）

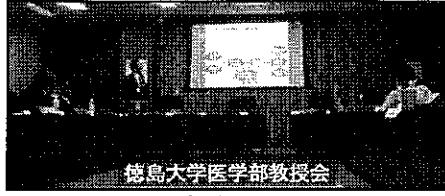
勤務医不足の問題は、

単に、一医療機関や一自治体で解決できるものではなく、
徳島大学・徳島県医師会・徳島県行政・
地域自治体行政・地域住民などが一体となって
取り組むべき課題である。

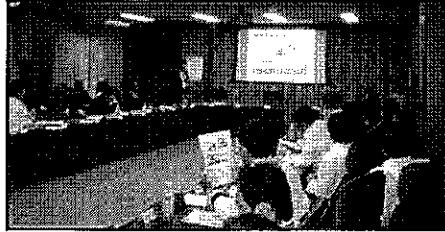
特に、徳島県下の医療をリードする
徳島大学医学部と徳島県医療行政担当部局は
地域医療の水準を保つ責務があるといえ、
両者が徳島県下の医療事情に関し、
共通の認識に立ち、
医師派遣を含めた医療提供体制のあり方について
問題意識を共有する必要がある。

県立病院の経営理念や運営方針を説明

勤務医不足問題で支援要請



徳島大学医学部教授会
平成18年1月12日



平成18年1月12日

自治医大顧問指導委員連絡会



平成18年1月東京

県南部の医療のあり方について意見交換会

徳島県立海部病院にて
平成18年1月30日



地元の町長・県議員・医師会長・開業医・
病院長・県病院局・県保健福祉部等が参加

南部圏域振興計画

●地域医療の充実

全国的に課題となっている医師の地域偏在や診療科偏在に対応するため、地域医療支援機構やドクターバンク等を活用した確保に努めるとともに、関係団体と連携を図りながら、地域の医療機関の機能分担や相互支援体制の構築など、短・中・長期的に県全体の医師確保対策に努めます。

特に、南部II医療圏（海部郡）については、地域の保健、福祉を含めた医療提供のあり方について検討するため、県、地元町、地元医師会及び地域住民による協議会を開催し、県立病院を含めた公的病院のネットワーク化等による、地域医療体制の最適化を図ります。

南部圏域医療問題協議会

2006年9月4日に発足
現在までに3回の会議を開催

来る11月30日には
県民から参加者を募り、
議論する予定。

30日に意見交換会を開催する
参加者を募集

徳島県南部総合医民局
は、管内各地域医療を考
える南部圏域医療問題協議会に参
加する。30日13時半～16時、美
波川河内・同県民局美波に開
催。議題は、「南部圏域にあ
る住民を算っている。
問題について」をテーマ
として、行政、消防、関係者ら
と住民交えた意見交換
がある。住民は、各町1
人程度が会場に出席する
予定。
対象は那賀、海部両郡
の住民、議員交換会の參
加希望者は、小児科、
産科医療についての
意見をまとめたレポート
を添えて各町に提出す
る。議論は22日会
議は一般の傍聴も可
能。問い合わせ
は、同県民局医療企画担当
課へ電話088-420-0722。

医師確保への県の取り組み

- ・地域医療支援構運営事業の創設
- ・徳島大学医学部生に対する奨学金制度の創設
- ・自治医大の定員枠増の要請
- ・夏期地域医療セミナーの実施
- ・県医師会ドクターバンクの活用
- ・臨床研修医の受け入れ定員の拡大
- ・徳島大学の協力型臨床研修病院としての協力
- ・臨床研修医に対する経済的支援
- ・指導医養成のための講習会、研修派遣
- ・徳島大学への医師派遣要請
- ・HP(県、自治体病院協議会)による医師の公募
- ・徳島県内公的病院ネットワーク構築の啓蒙
- ・遠隔医療ネットワークの整備
- ・3病院間の人事交流、中央病院よりの応援診療
- ・県立病院医師のさまざまな待遇改善
- ・県医師会、海部郡医師会との懇談会
- ・保健福祉部、南部県民局との三者会議

県立病院は、三つでひとつ！

・医療資源の活用
応援診療
医師人事交流
医療機器
遠隔医療
電子カルテ
・物品の共同購入
薬剤
医療材料
医療機器

「県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる」

海部病院の応援診療

中央病院

海部病院が派遣追加

週5回若手医師の教育も

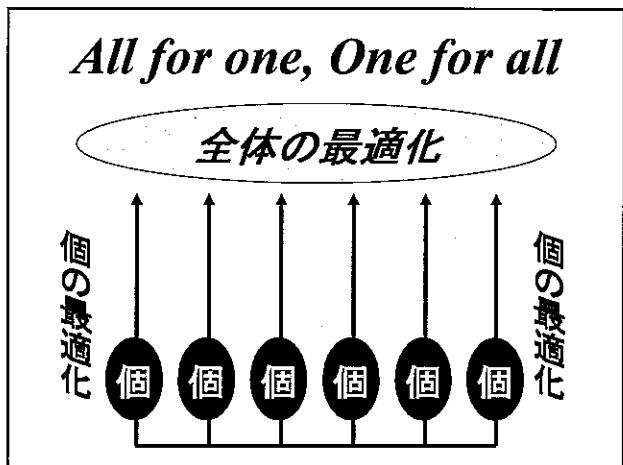
平成17年9月

平成17年6月

平成17年4月

小児科など3科で応援診療

医師不足6人減り、12人に



ワースト死亡率は糖尿病だけではない！

	全国平均	徳島県	全国順位
1. 悪性新生物	253.9	292.2	13
2. 心疾患	126.9	170.8	3
3. 脳血管疾患	102.3	128.1	13
4. 肺炎	75.7	108.9	3
5. 不慮の事故	30.3	42.6	9
6. 自殺	24.0	19.4	46
7. 老衰	19.1	28.4	12
8. 腎不全	15.1	23.5	2
9. 肝疾患	12.6	15.2	4
10. COPD	10.7	14.2	7
糖尿病	1.5	16.6	1

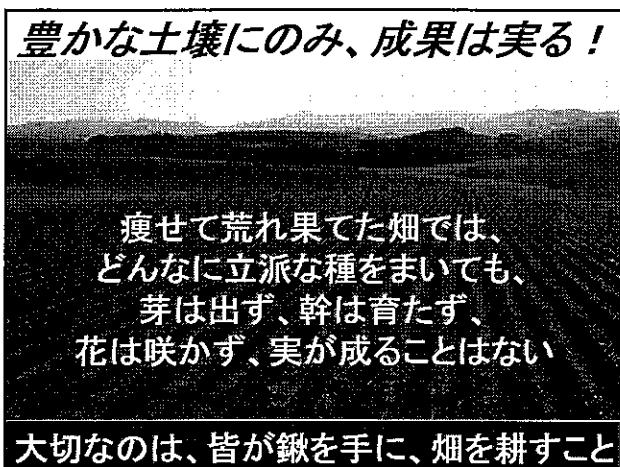
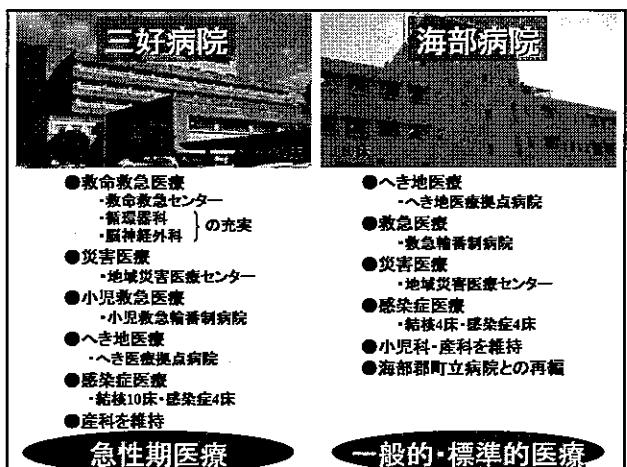
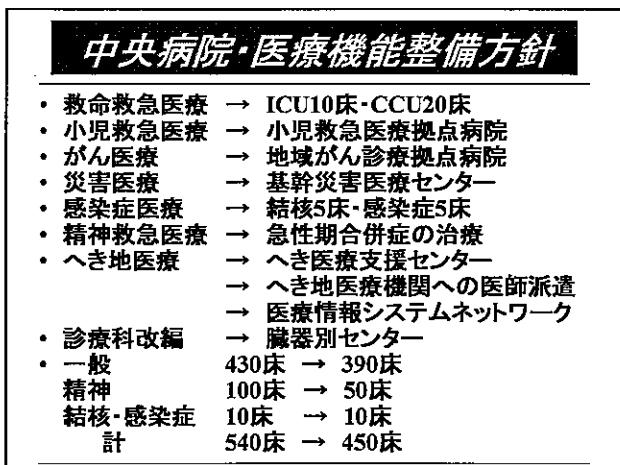
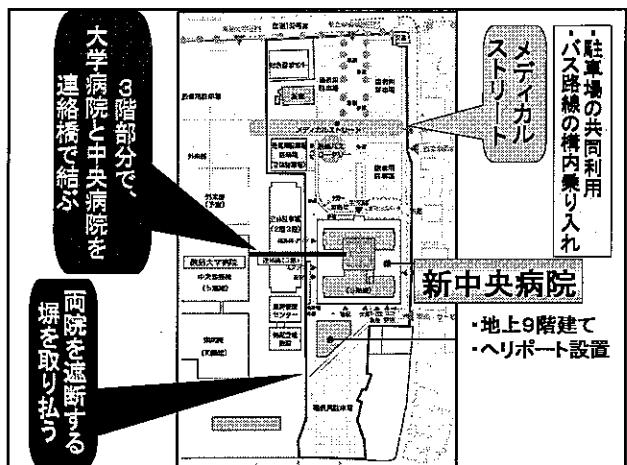
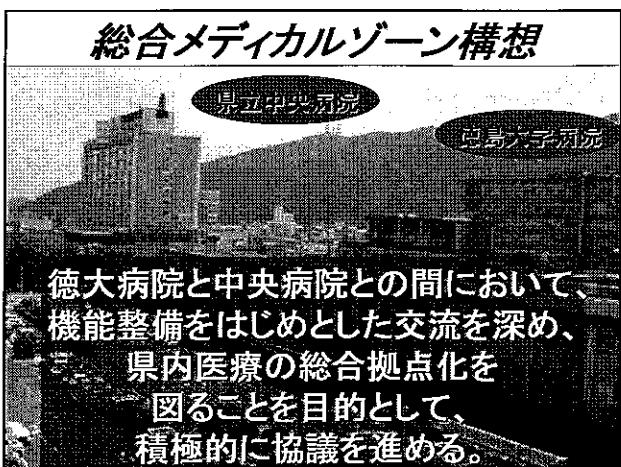
死亡率：人口10万人対

平成16年度厚生労働省統計

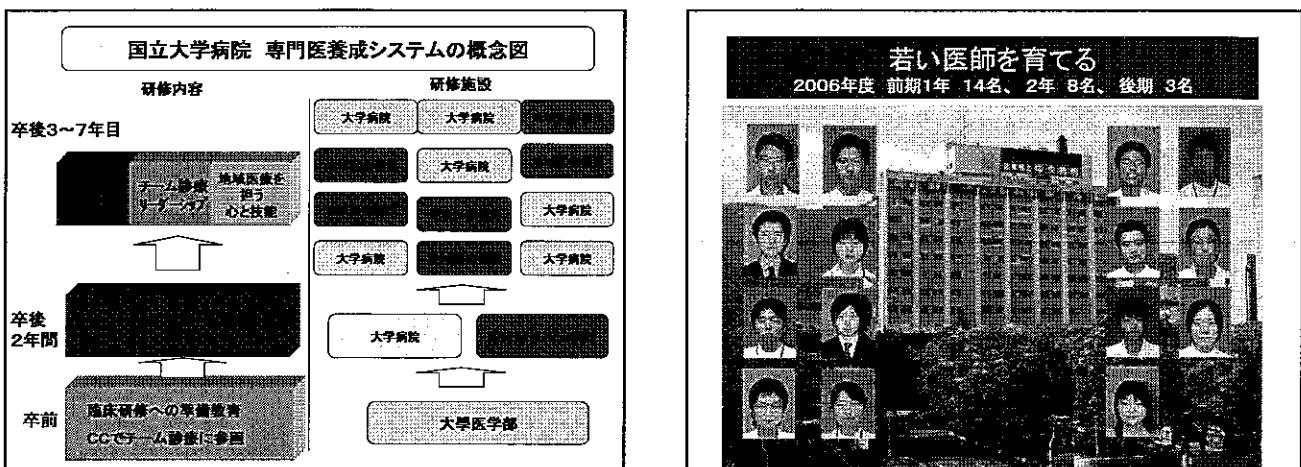
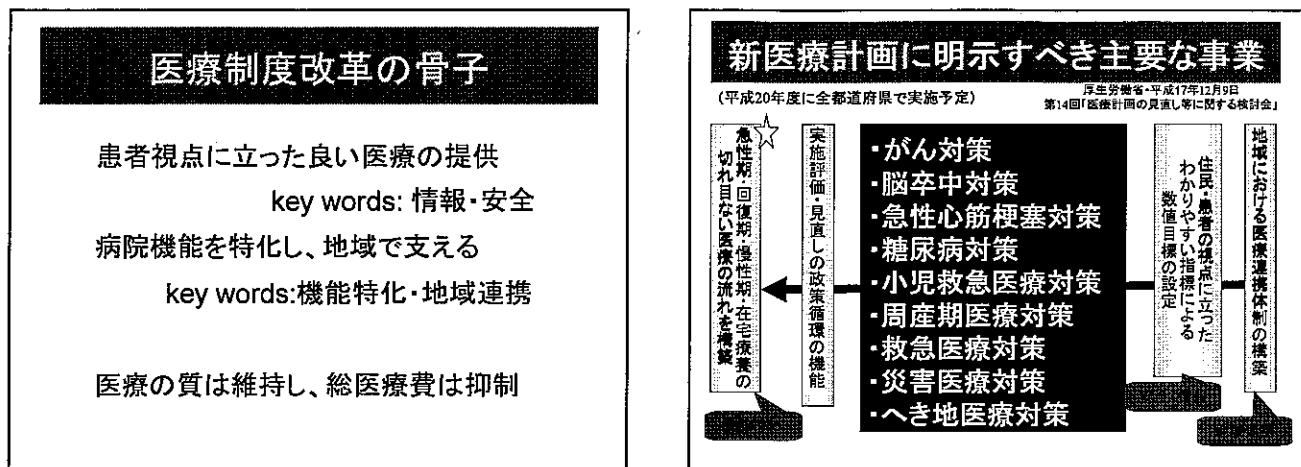
医療機能分担は可能か？

	徳大病院	中央病院
周産期医療	●	X
小児救急医療	X	●
救命・救急医療	?	●
生活習慣病医療	●	●
がん医療	●	●
感染症医療	?	●
難病医療	●	X
精神救急医療	X	●
在宅医療支援	X	●
終末期医療	?	?
べき地医療支援	?	●
災害医療	?	●
高度先進医療	●	X

徳大病院と中央病院の

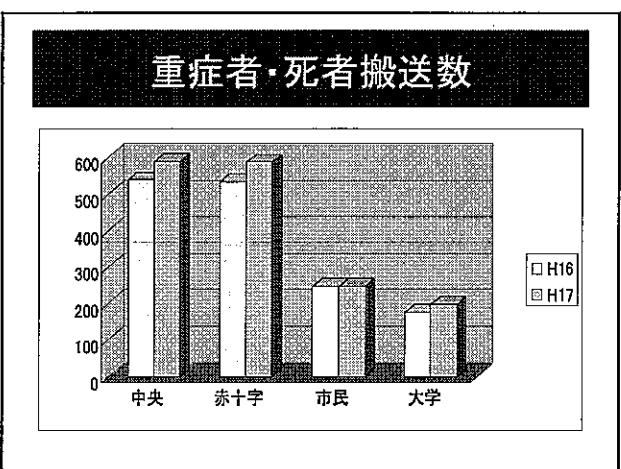
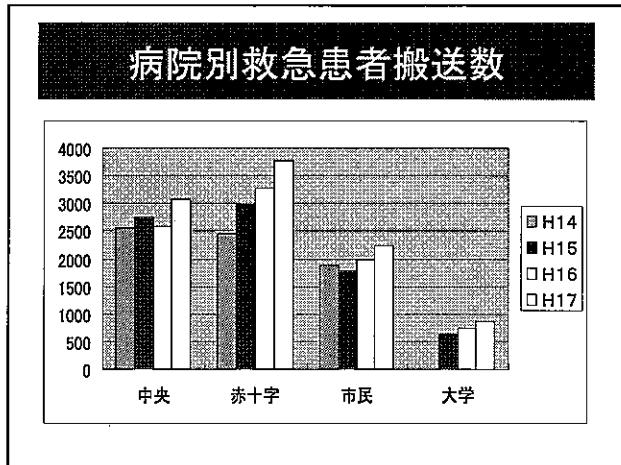
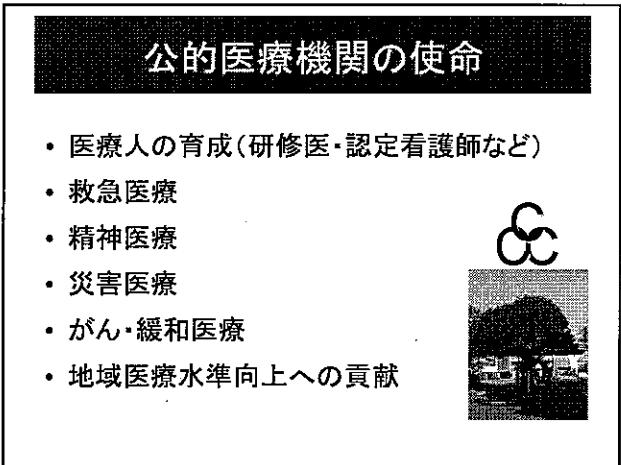


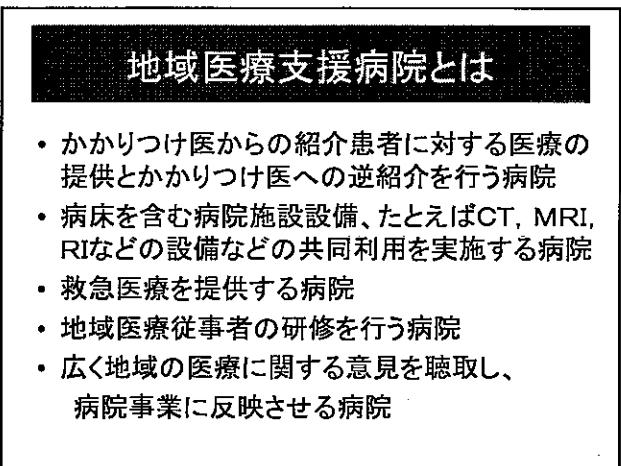
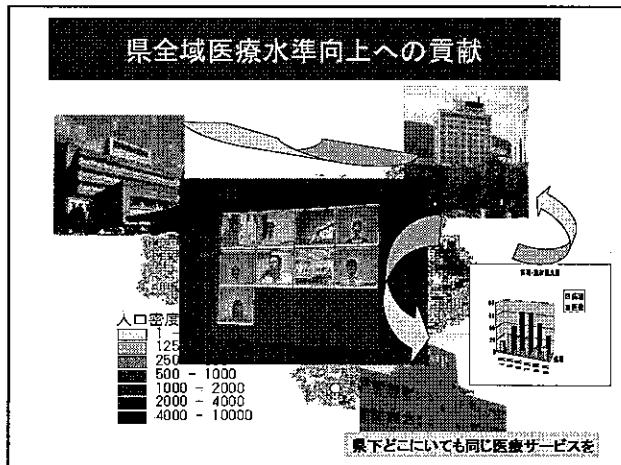
②県立病院が目指す方向と運営方針について（中央病院 永井院長 説明）



徳島県主要4病院の概要				
	徳島県立中央病院	徳島大学病院	徳島市民病院	徳島赤十字病院
県立病院	640床(一般430、精神10、精神100) 新病院:450床)	710床(一般645、精神45、精神14、透析6)	現在397床(新病院:339)	405床
都立病院	現在19病室(内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、神経科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、婦人科、婦科外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科外科、歯科矯正科)で、21科、心療内科、精神科病棟の開設、精神科病棟の開設、精神科病棟の開設)	29病室(脳血管内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、神経科、内分泌・代謝内科、腎臓科・神経内科、内分泌科、代謝内科、心臓血管内科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、婦人科、婦科外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科外科、歯科矯正科、小児科内科、小児外科、小児内視鏡科、小児精神科、放射線科、放射線外科、放射線診断科、放射線治療科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児外科、小児内視鏡科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児外科、小児内視鏡科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児精神科)	12病室(内科、小児科、外科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、婦人科、婦科外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科外科、歯科矯正科、小児科内科、小児外科、小児内視鏡科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児外科、小児内視鏡科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児精神科)	21病室(脳血管内科、循環器科、代謝内科・内分泌科、腎臓科・神経内科、呼吸器科、消化器科、心臓血管内科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、婦人科、婦科外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科外科、歯科矯正科、小児科内科、小児外科、小児内視鏡科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児外科、小児内視鏡科、小児精神科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、小児精神科)

徳島県立中央病院	徳島大学病院	徳島市民病院	徳島赤十字病院
3次救急(救急救急センター)	3次救急	中・重症救急対応医療機関	3次救急(救急救急センター)
東部地区小児急救医療機関 新病院(平成12年1月)※		東部地区小児急救医療機関 新病院(平成12年1月)	(南部地区)小児急救医療機関 新病院
道道安来がん治療拠点病院			
基幹災害医療センター			地域災害医療センター
総合周産期母子医療センター	周産期医療・NICU		
複数入院・急性期・合併症		新病院では休止	休止
SARS病院			
地域医療支援			地域医療支援病院
施設・研修指定病院	施設・研修指定病院	施設・研修指定病院	施設・研修指定病院
エイズ診療	エイズ診療専門病院		
施設・研修	施設・研修専門病院		施設運営施設
セカンドオピニオン	セカンドオピニオン外来	セカンドオピニオン外来	セカンドオピニオン外来
その他	ISO9001/ISO14001/プライバシーマーク認定		日本医療機器評議会認定
H14	428.1人/日	577人/日	392.4人/日
H15	700.3人/日 (平成14.6.63)	1,688人/日 (2,751)	805.3人/日 (2,222)
H16	15.5日	20.5日	6.8日
H17	80.8%	82.5%	81.4%





徳島県立中央病院 地域医療センターの取り組み



徳島県立中央病院 地域医療センター
中西 敬子
(副センター長、看護部長)

地域医療センターの概要

- ◎地域医療連携事業
- ◎院内外への広報活動とその企画
- ◎医療福祉相談窓口
- ◎へき地医療支援事業

地域医療センターの概要

◎地域医療連携事業

○登録医制度

- ファックスによる紹介患者の受け入れ
 - ・診察予約、検査依頼 CT、MRI等
 - ・かかりつけ医からの事前紹介・予約。
 - ・平成13年度より開始。
 - ・最近500超/月(総紹介患者900超/月のうち)。

○共同診療

- ・登録医が紹介患者を院内で共同診療

○医師会研修医の受け入れ

- ・地域の医師も院内研修可能。現在6人登録。

地域医療センターの概要

◎院内外への広報活動とその企画

○講演会の計画と開催

- ・毎月1回、多彩なテーマで、院内スタッフによる講演会。

○医療機関訪問

- マンスリーファックス「中央病院便り」
 - ・月1回の発行。

○「病院医師の横顔」

- ・勤務医師の紹介冊子作成・配布

地域医療センターの概要

◎医療福祉相談窓口

○当院の総合相談窓口的な役割

- ・看護師・MSW(社会福祉士)が、対応。
- ・高い患者満足度を目指して。

◎へき地医療支援事業

- ・へき地医療拠点病院として、県内のへき地医療支援(代診・出張診療等)

これまでの取り組みから

平成17年度の取り組み

①地域医療連携事業講演会(月1回)

- 医師中心の内容から、コメディカルも参加できる内容へ。
(医療安全・感染症対策などチーム活動、褥瘡ケア…)

②地域医療機関への訪問

- センター長・看護部長の訪問以外に各科部長も訪問。
のべ193施設実施(県内各地)

③広報活動

- マンスリーFAX「中央病院便り」、月1回登録医向け発信。
 - ・当院からの発信情報の充実へ。
 - ・院内各部署よりの投稿、院内研修への参加案内など。
 - ・勤務医師の交代等の情報等も。
- 「病院医師の横顔」
 - ・勤務医師の紹介冊子を、年に1回発行し、登録医全員と県・都市医師会事務局等へ発送。
- 担当医師交代の度に、外来日割表ファックス送信。
- 病院ホームページなどのさらなる充実。

④地域医療支援病院承認にむけての プロジェクトチームでの活動

- 平成17年1月発足、院内各部署よりメンバー構成され定期的に検討会開催。

(平成18年3月、承認達成後、発展的解散)

- FAX予約による紹介患者最優先の診療

- かかりつけ医推進活動

診療の窓口は、原則として紹介状をお持ちの
患者さんを最優先させていただきまして、
具体的な診療の順番としては、
①かかりつけ医から来院された紹介患者さん
②かかりつけ医をお持ちの患者さん（診断未付なし）
③在院予約患者さん
④紹介状未提出でお持ちでない患者さんなど

⑤医療福祉相談体制の充実

- ・利用しやすい窓口・雰囲気づくり
- ・MSW1名の正規職員化



⑥医療連携担当者ネットワークミーティング 【目的】

- ・地域医療機関の連携担当者との顔の見える
関係構築を図り、情報交換の場を持ち、患者
中心の連携を促進する。

第1回開催(平成16年10月27日)

テーマ：連携に対する各施設の取り組み

参加者：59施設136名

第2回開催(平成18年2月1日)

テーマ：利用者満足100%の連携医療を目指して
(急性期から在宅まで)

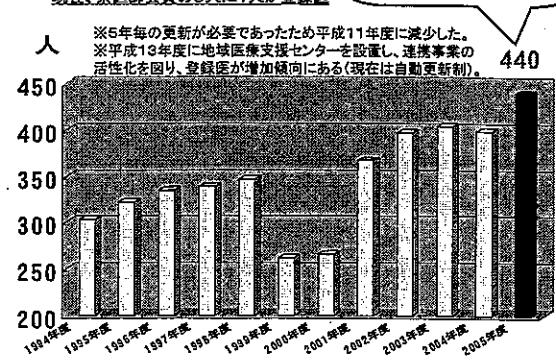
参加者：81施設157名

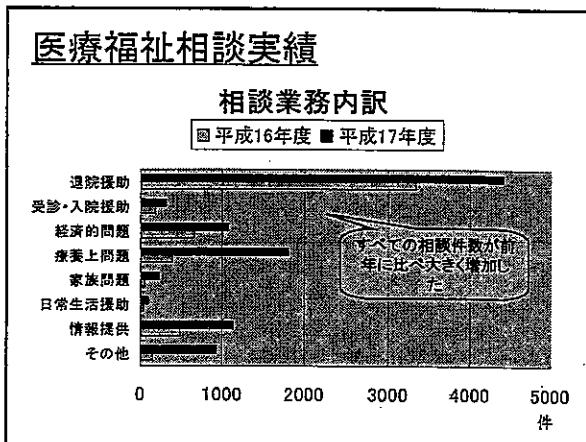
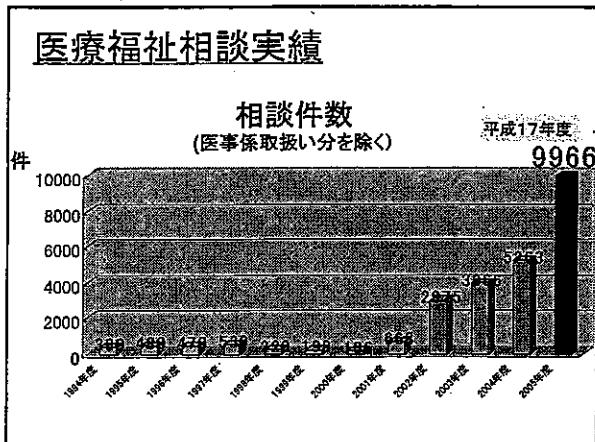
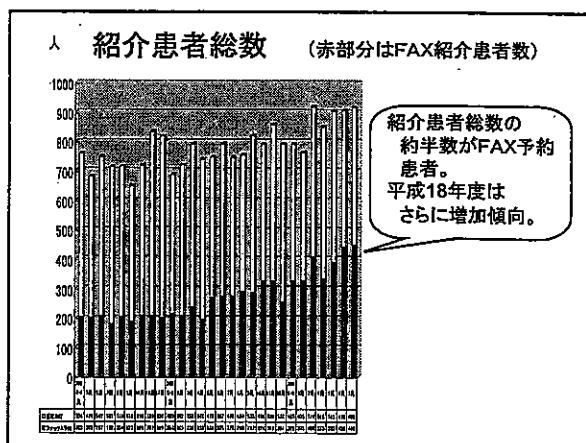
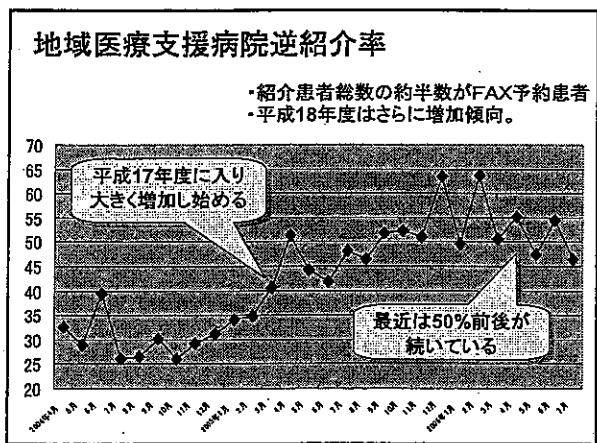
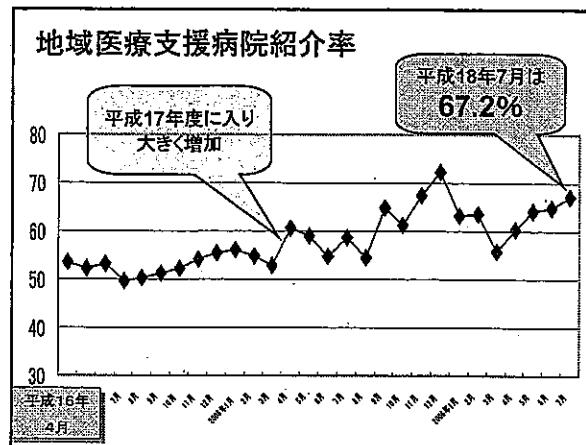
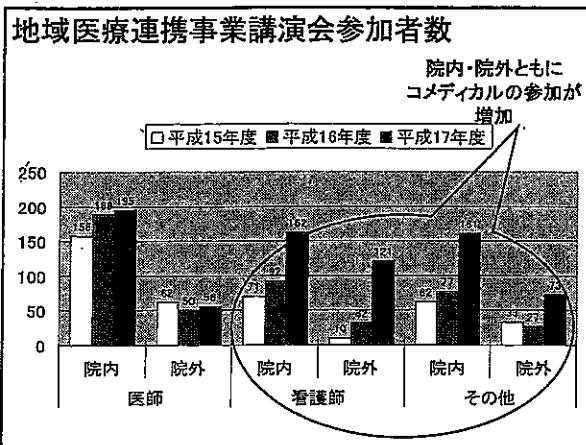
主なデータ紹介 ～地域連携事業～

登録医数

現在、県医師会員の3人に1人が登録医

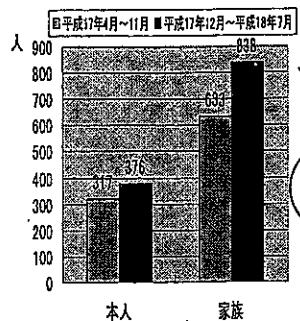
平成17年度で登録医
が約50名増加





医療福祉相談実績

相談窓口直接来談者数



相談窓口を新設した
平成17年12月の前
後8ヶ月間の直接來
談者数を比較

これからの活動

1、患者中心の医療機能分化に向けて

- ・紹介・逆紹介の推進
- ・登録医情報の院内公開
- ・地域連携バス
- ・看護連携

2、地域医療機関のみならず

- 幅広い連携の推進
- ・医療福祉ネットワークの拠点へ

3、患者満足の向上のため

- 相談支援体制の強化

地域連携バス

<参考: 医療マネジメント学会地域医療委員会より>

狭義の連携バスは、病院と病院の間あるいは病院と診療所の間で、関係職種のコンセンサスに基づいて作成し、使用するクリティカルパスと定義。

広義の連携バスは、病院と診療所のみならず、地域の訪問看護ステーションや薬局、介護福祉施設などの多数の関係者のコンセンサスのもとに、疾患の経過や進行状況の流れに従って作成する。また診療ガイドラインに基づいて作成すること、達成目標を明示すること、患者用クリティカルバスを備えていることを条件とする。

地域連携バス

<徳島県立中央病院>

○肺癌連携バス

当院外科医が作成し、平成17年5月より稼働中

○大腿骨頸部骨折連携バス

平成18年4月より稼働中

第3回 地域連携バス(大腿骨頸部骨折)検討部会
連携先医療機関17施設との意見交換
平成18年11月21日開催予定

○脳外科・循環器科・内科(糖尿病)連携バス

地域医療連携推進委員会で作成中

第2回 平成18年10月31日開催

第3回 平成19年2月13日開催予定

第2回 訪問看護ステーションと

院内看護師との交流会

看護部医療連携推進小委員会主催

平成19年2月17日(土)9時30分から開催予定

内容:事例検討から病院看護師と訪問看護師の役割を知る

第3回 医療連携ネットワークミーティング

平成18年12月16日(土)18時から開催予定

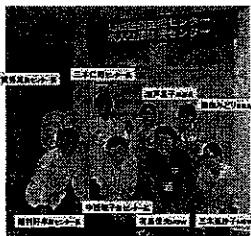
テーマ:利用者満足100%の連携医療をめざして

内容:医療・福祉制度改革に伴う連携担当者の役割

終了後懇親会あり

中央病院に来られた時は

どうぞお立ち寄りください



徳島県立中央病院地域医療センター

③さらなる改善に向けた取り組みについて（三好病院 大西看護師長 説明）

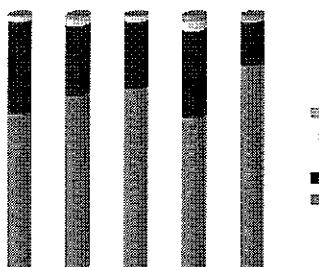


1 接遇の向上対策

- ・外来患者満足度調査
- ・入院患者退院時満足度調査
- ・職員接遇自己チェック調査
- ・接遇向上対策委員による院内ラウンド
- ・月間の目標をポスター掲示
- ・接遇研修会
- ・手話研修会

徳島県立三好病院

外来患者満足度調査結果



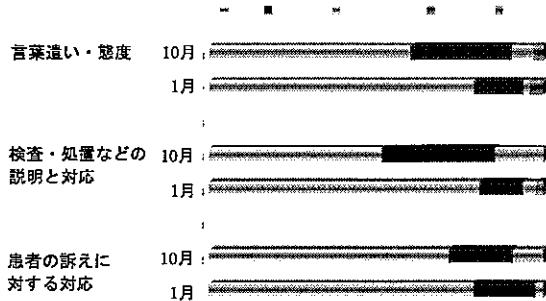
- A. 職員は笑顔で挨拶をしていますか
B. 職員は患者様の方を向いて、诚意を持ってお話を聞いていますか
C. 職員は患者様に対し、言葉をゆっくり話し、丁寧な言葉づかいをしていますか
D. 職員同士の会話が、患者様に不愉快な感じを与えないような配慮ができますか
E. 職員の身だしなみは良いですか(白衣・靴・髪・化粧など)

外来待ち時間対策

- ・待ち時間の表示
- ・適宜の状況案内や声かけの実施
- ・ビデオ視聴
- ・パンフレット、図書類の設置
- ・待ち時間中の相談（医療相談、看護相談）
- ・受付時間の拡大
- ・BGM
- ・予約枠の改善

徳島県立三好病院

退院患者満足度調査（看護師）



接遇自己チェックリスト

- ・言葉遣い (14項目)
- ・身だしなみ (18項目)
- ・態度 (23項目)
- ・配慮・病棟環境 (4項目)

<評価の目安>

1. 全く出来ていない
2. ほとんど出来ていない
3. あまり出来ていない
4. ときどき出来ている
5. 常に出来ている

徳島県立三好病院

2 患者からの意見の反映

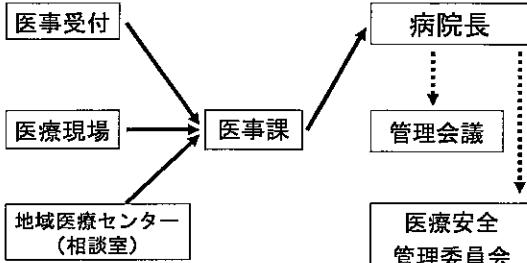
御意見箱対応システム

- 回収・開封（毎週金曜日）
事務局次長及び各階層長の2名で対応する。
- 問題の認識
管理部門、関係部署へ投書のコピーを配布する。
- 回答案作成
医事課長が関係部門の長と協議し原案を作成する。
- 回答案検討
管理会議
- 回答・周知
記名者には手紙・口頭で、匿名の者には掲示で、各部門の長にもコピーを配布する。

滋賀県立三好病院

苦情処理のシステム

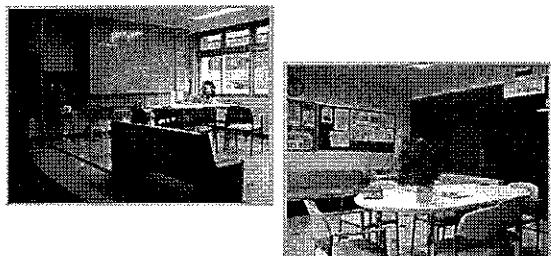
(一次対応) → (二次対応) → (三次対応)



滋賀県立三好病院

3 療養環境の整備

各病棟デイルームの整備



敷地内全面禁煙の実施

全館及び敷地内 全面禁煙のお知らせ

当院では 平成18年8月1日から
病院本館及び敷地内 全面禁煙 を実施しています。

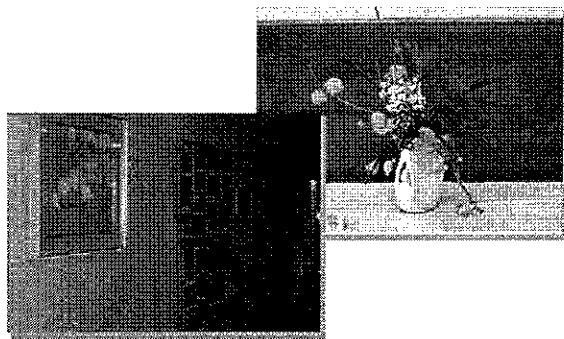


禁煙は、国民全体の社会的責任です。このたびより禁煙をめざす、
人権をもととする社会です。禁煙について実施ですが、これまで
医療機関の禁煙を実施して、多くの医師を含めていじめたり、暴力
の行為が多発するなどしてしまったことで社会に大きな問題を引き
たため、禁煙を実現をめざし、禁煙活動を行なっています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

院内観葉植物等の配置や

院内ギャラリーの充実



4 その他（本院の特徴的事例）

●在宅酸素療法患者への支援 (S. 60~)

90名前後の患者宅を呼吸器科医師・看護師・
薬剤師がチームを組んで訪問し、療養指導を行っている。

(2週間に1回。対象者：1回当たり3~4名)

●脳神経外科患者の訪問診療 (H. 17~)

重篤で通院困難な患者に対し、脳神経外科医師・看護師が訪問し、気管カニューレの交換等を行っている。

(2週間に1回。対象者：2名)

滋賀県立三好病院

介助犬の受け入れについて

三好病院では平成18年3月より四国の医療機関で初めて、介助犬の受け入れを行いました。

本院では身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を同伴することが出来ます。



身体障害者補助犬は、目や耳など身体に障害のある方の行動を助けるために特別訓練された犬のこと。身体障害者の方は、この犬と一緒に日常生活を送ることで、より安全安心な社会生活が送れるようになります。また、盲導犬は、視覚障害の方の足元を案内する役割を担っています。

介助犬は、身体障害者の方の行動を助ける役割を担っています。

聴導犬の行動要領はすべて使用者の方が耳に装着しておられます。院内で見かける補助犬は大にせまなか井筒中ですべての種類の犬が見られます。そっと遠かく見て下さい。

下記のようなことがありましたら、職員までお尋ね下さい。

・スムーズに通じるつもりでない
・通じるつもりでない
・そのほか、だれぞ質問、困難がありましたら、職員までお尋ね下さい。

皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。

ご不明な点はお問い合わせください。担当者:山本和也(看護師)

徳島県立三好病院

5 今後の取り組み

1. 地域連携の強化

保健福祉との連携強化

病診連携

2. 質の高い医療の提供

チーム医療の充実

インフォームド・コンセントの強化

クリティカルパスの増加

セカンドオピニオン制度の導入

3. 院外環境の整備

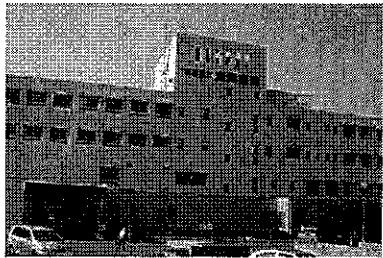
職員による敷地隣接部の清掃

4. 満足度調査・待ち時間調査の継続実施

徳島県立三好病院

③さらなる改善に向けた取り組みについて（海部病院 川端院長 説明）

患者サービスの更なる改善に向けて



徳島県立海部病院

* 外来患者アンケート

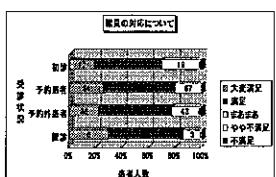
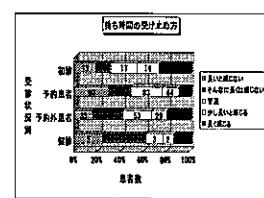
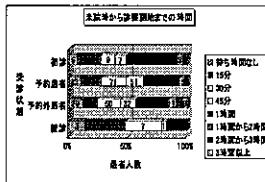
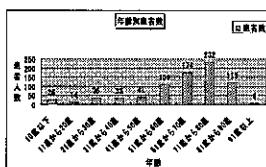
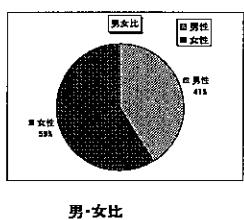
* クレーム・ご意見・接遇

* その他の病院の取り組み

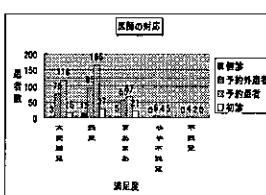
* 今後の課題

外来患者アンケート

2008/3/20-3/28 (800/1000人)



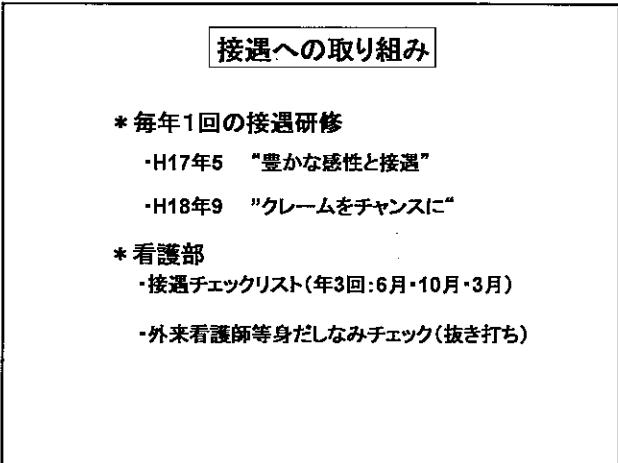
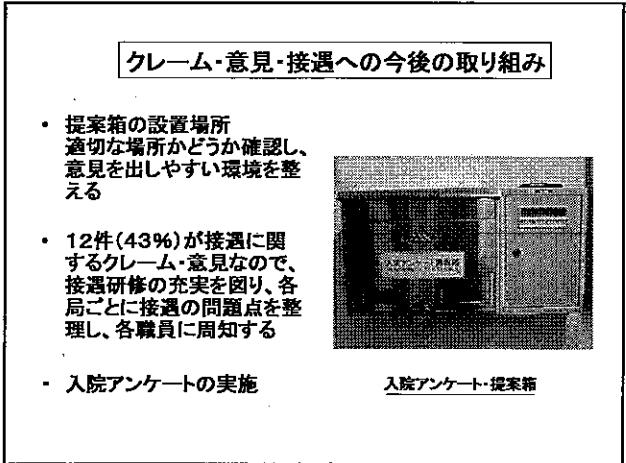
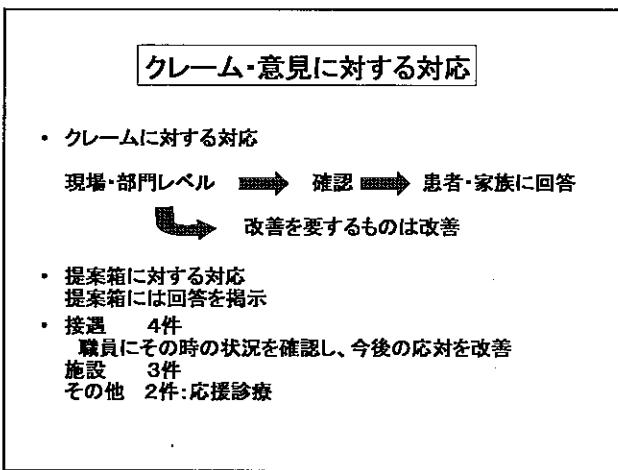
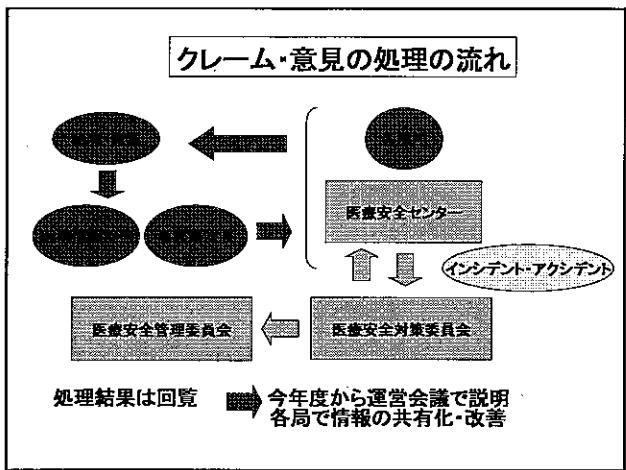
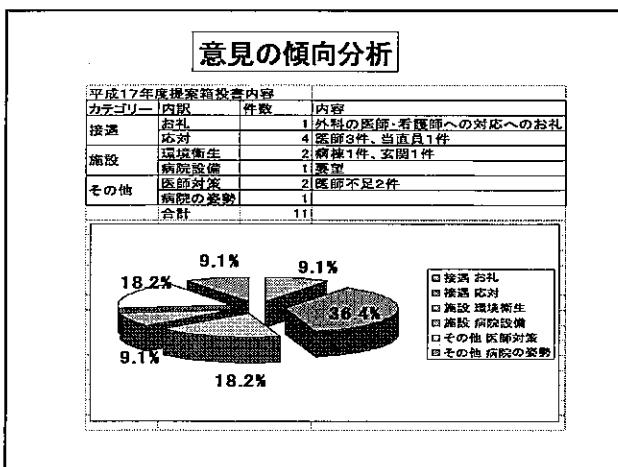
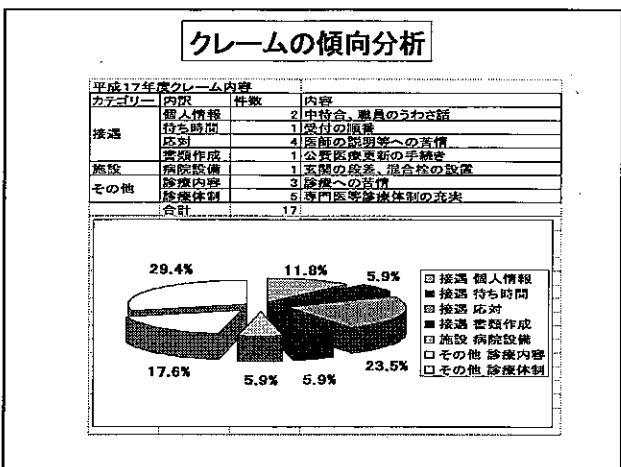
職員の対応について



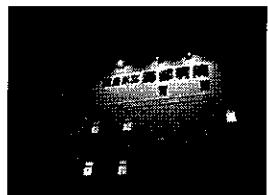
医師の対応について

アンケートへの対応

- ・待ち時間の少ないスマーズな診療
- ・診察進行状況の情報提供
- ・予約制の周知・充実
- ・新患者への配慮
- ・外来アメニティの適切な整備



その他病院の取り組み



夜間照明



表示前



駐車場整備

* 総合医療情報システム



オープンカウンターの設置



朝の受付



ナースステーション

* 病院機能評価受診 (12/24~12/26に受審)



表記場所

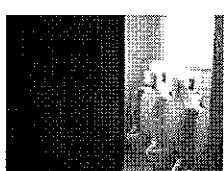


中窓の埋め込み



目隠しカーテン

* 快適な療養環境



トイレ清掃チェック表



掲示板



バリアフリー

* 地域住民と連携



ボランティアの受け入れ
(サクラの会 2回/月)



公衆調便(消化器ガン)



看護体験(海部高校)

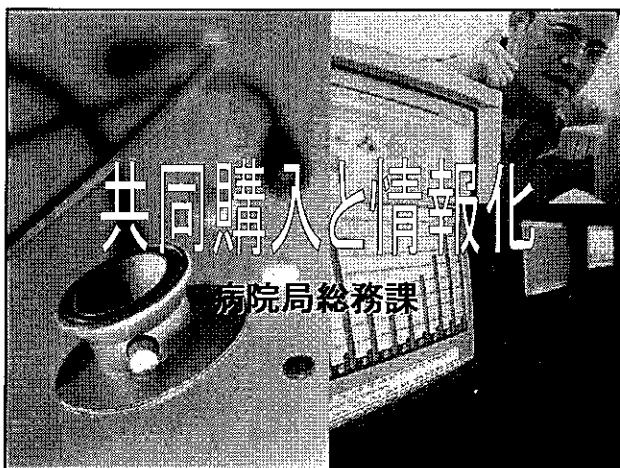
今後の課題

・さらに患者中心の医療を推進

・ミニマムセキュリティ医療確保

医師の集約化・拠点化

③さらなる改善に向けた取り組みについて（総務課 堺事務主任 説明）



共同購入

- ・医療器械等の購入方法
特別な理由があるものを除き競争入札による導入方法を推進します。
- ・医薬品等の購入方法
3病院の材料購入の一元化による購入単価の引き下げに取り組みます。

3病院の共同購入へ

平成18年度の共同購入(医療器械)

(1) 契約の方法

- ・1品の単価が一定額以上(1,000万円が目安)
- ・総額で目安を超える場合も実施する

(2) 対象品目数

- ・同一メーカーの同一器械、同一製品
- ・同一メーカーの同一器械、異なる製品
- ・同一メーカーの異なる器械

(3) 今年度の状況

- X線発生装置(中央・海部:約3,800万円)
- X線テレビ装置(三好・海部:約7,800万円)

平成18年度の共同購入(薬品)

(1) 契約の方法

- ・3病院共通単価での契約(年に1回)

(2) 対象品目数

- ・約2,000品目
→原則全品目が共同購入対象

(3) 今年度の状況

- 薬価改定で作業量が増大
- 交渉が難航

平成18年度の共同購入(診療材料)

(1) 契約の方法

- ・3病院共通単価での契約(年に2回)

(2) 対象品目数

- ・診療材料 約4,000品目(抽出)

→今年度までに15品目

(3) 原因

- 安全性、手順の確認

- サンプリングに時間が必要

課題

(1) 医療器械

- ・購入計画の調整

(2) 薬品

- ・情報の共有化(購入薬品など)
- ・同種・同効薬品の整理
- ・ジェネリック医薬品の導入方針(病院ごと)

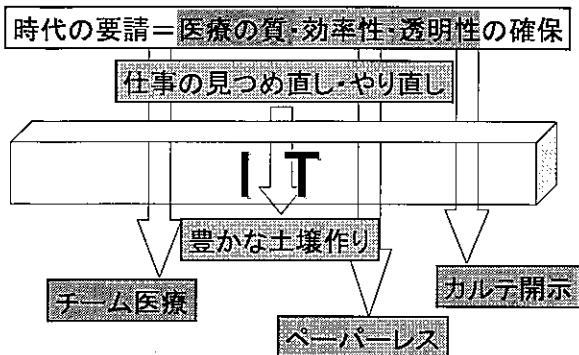
(3) 診療材料

- ・高額医療材料の共同購入
- ・既にある購入している同一品目で各病院間での価格の統一

(4) 共通

- ・定数管理の徹底

IT化の目的



経営健全化計画の中のIT

- ・県立3病院情報ネットワークの構築
 - 電子カルテグリッドシステム
 - ホームページの設置・充実
 - ・電子カルテシステムの導入
 - ・医療情報システムの活用
(原価計算、診療報酬漏れ防止、経営分析など)
 - ・情報システムの統合

現在計画実行中

ロードマップ

ロードマップ

	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
中央	オーダリング システム			電子カルテシステム								
三好	オーダリング システム											
海部				電子カルテシステム								

中央病院開院（最短）